

あけましておめでとうございます



下田市議会議長
滝内 久生



下田市長
松木 正一郎

あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今なお世界中を覆っているコロナ禍。市民の皆様も暮らして仕事などで大変ご苦労なさいていらっしゃると思います。

医療関係者におかれましては、日々の感染症との戦いやワクチン接種へのご協力で心から敬意と感謝を申し上げます。

また、飲食店やホテル、旅館など、厳しい経営を強いられながらも、「観光地下田の灯を消したくない」と創意工夫しながら頑張っているそのご苦労にも敬意と感謝を申し上げます。

オミクロン株の登場など、いまだ先行き不透明ですが、市としても、感染拡大防止と観光経済対策の両輪で様々な取り組みを進めてまいります。ワクチン接種につきましては、すでに医療従事者への第3回目の接種を始めており、2月から順次市民の皆様にも集団接種と個別接種を実施する予定です。

市制施行50周年については、コロナの状況を勘案しながら、様々な記念事業を実施し、今月14日にはいよいよ記念式典を挙行します。感染拡大

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい令和4年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より議会運営に対し温かいご指導、ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が拡大し、経済や日常生活に暗い影を落とし、社会全体が疲弊感のある一年でありました。観光業が基幹産業である下田市にとって新型コロナウイルスによる社会情勢の変化は、地域経済・市民生活への影響が計り知れないものであります。現在、下田市を取り巻く環境は大変厳しく、解決しなければならぬ課題が山積しております。

人口減少・少子高齢化の加速、新しい感染症による安全・安心への不安をはじめ、様々な社会環境の変化による課題解決に向け、市民、行政、議会が一体となり行動していかなくてはなりません。喫緊の課題であります「新庁舎建設事業」「広域ごみ処理事業」

につきましても幅広い正確な情報をもって解決してまいります。

大防止のため、規模を縮小し、参加者を限定しての開催ですが、小中学生の作文表彰式、下田グロージャーナルCITYプロジエクト宣言、御用邸所在地友好都市協定締結、「みなとオアシス」の登録披露など、未来への夢や希望を高く掲げた、「青天を衝く」ものとしていきます。

4月からは、市内4中学校が1つに統合となります。市の将来を担う、あるいは世界で活躍するような人材の育成を目指し、小中高が一体となつて教育のさらなる拡充に努めてまいります。

地球規模での環境問題やデジタル化への対応など、社会情勢は大きく変化しています。一方、私たちの市では、庁舎建設、広域ごみ処理、夏期海岸対策など重要課題が山積しています。グロージャーナルで持続可能なまちづくりを目指して、これからは様々なチャレンジを進めてまいりますので、市民の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結ぶに、皆様のご健勝とご多幸をお祈りして、新年のご挨拶とさせていただきます。

観光の振興において交通インフラの整備が重要であります。現在、伊豆縦貫自動車道の整備が精力的に進められており、河津IC（仮称）～逆川IC（仮称）区間は、令和4年度の開通見通しが公表され、大幅な時間短縮が図られるなど、観光地下田にとっての大きな朗報であります。

さらに、天城峠を越える区間につきましては、事業化に向けた手続きが進められ、全線開通が近づいています。伊豆縦貫自動車道のストック効果は多方面に及び経済、市民の生活環境にとって一大転機となると思われます。行政、議会、諸団体の皆様による陳情・要望活動の賜と感謝申し上げます。

市議会では議会改革の一環として議会だよりの刷新、一般質問のYouTube配信を行います。今後は「女性・若者の議会参画」や「議会運営のICT化」などの検討を進め、市民に開かれた議会を目指し、現在取り組んでおります。

結ぶに、市民の皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。